



日本上座仏教修道会

茨城県 浄心庵精舎 祝 見習出家 体験感想

2021年 夏期 浄心庵精舎 テラワダ仏教における見習出家儀式



仏暦 2565 年令和 3 年（2021 年）8 月 15 日（日）午後 1 時 30 分より、茨城県鉾田市浄心庵精舎瞑想堂において、比丘サンガを代表する当会大導師ニャーヌッタラ大長老の下で、中学 2 年生のお二人の「テラワダ仏教における見習出家儀式」が執り行われました。儀式には、ご家族をはじめ、会員有志、今期瞑想会参加者が参列し、総勢 17 名が集まりました。

<https://www.facebook.com/watch/?v=1598400257033658>（当会 FB 公開中）

お二人は、小学生の頃から、茶色の衣を身にまとう比丘であられる大長老を尊敬し、自ら見習出家を請願されていました。お寺に出入りしながら、三帰依と共に戒律を守り、お釈迦さまの教えの実践法の勉強や、作務の功德行などを行って、たくさんの功德を積み重ねました。そして、大長老をはじめ、ご両親の許しを得て、見習出家になるための勉強を終えて、念願の見習出家となりました。

<https://www.facebook.com/cari.dhamma.7/videos/187880833392051>（浄心庵 FB 公開中）

お二人がお手本として示されたように、ご縁があって見習出家を目指される中学生以上の学生さんは、まず本人にやる気があり素直な心があること、親の許しが得られること、親は大長老に息子を預け任せること、これらの原因がそろうとき、大長老は、この浄心庵精舎で見習出家ができるように導き、教え戒めを与えて応援して下さいます。

沢山の功德を積まれた見習出家のお二人は、大長老のお導きで回向された後、還俗式が行われ、三帰依と五戒を授かりました。

見習出家になられたお二人の尊い特別な功德に随喜申し上げます。

見習出家体験感想文を掲載いたします。

※お名前とご年齢は、ご両親・本人の了解を得て、掲載させていただいております。





日本上座仏教修道会

茨城県 浄心庵精舎 祝 見習出家 体験感想

● 浄心庵精舎 見習出家体験感想文

- ・ 今回、八日間宿泊瞑想会に参加させて頂きました。その中でも私と、虎太郎君は見習い出家を体験させてもらいました。すごく貴重な体験をさせて頂き、有難う御座いました。
- ・ ここに来て初日、「もう明後日には見習い出家か...」と感じておりました。楽しみな気持ちと底知れぬ高揚感がありました。私は、見習い出家は 2 回目ですが、虎太郎君は初めてだったのでとても緊張しており、自分が初めての時に体験した話をし、僕なりに緊張を和らげていました。儀式前日には虎太郎君に「大丈夫、大丈夫」と声を掛けていましたが、実際のところ私も、心臓がバクバクと高鳴っているのに気づきました。
- ・ 儀式において、セヤードーがとても丁寧に進行してくれたので自分も「本当に、やって良かったなあ」と思う儀式になったのでセヤードーを始めとして、協力、参加して下さった皆様、本当に有難う御座いました。自分も儀式中、「緊張しない、緊張しない」と、言葉を頭の中で反芻させ、なんとか緊張を解していました。
- ・ 出家一日目、衣の着方など、様々なことを思い出しながら、出家生活をしていました。鉢で食事するのも、中々慣れず、セヤードーに追い付くのも精一杯でした。頑張っペースを上げるも、自分の盛りすぎ癖のせいもありほぼ毎回ギリギリで終わる様な感じで、頭の中で、セヤードーに追い付くために少なめに盛りたい自分とたくさん食べたい自分がいつも喧嘩していました。
- ・ 出家二日目、セヤードーのお誕生日、比丘食堂の準備でお花など、綺麗な内装で、たくさんの御布施もあり、やはりセヤードーは凄い方なのだたと改めて強く実感しました。夜のお誕生日説法の内容である病気になる十の原因の説法はしっかりとノートに書き留め、後で確認し、内容の凄さに圧巻されました。
- ・ 出家三日目、この頃から準備や片付けをする時、「こう設置したら次の人が使う時使いやすいかな、楽になるかな。」など思いながらするようになり、自分の中でこれは慈悲の一環なのではと思い、こういう日常の中にもこのようなことが紛れているのだと感じ、これからもこの気持ちを大切に、絶えさないようにしていこうと思いました。
- ・ 出家四日目、作務にとっても熱が入り、良い意味で多忙でとても疲れ普通の手伝いとは違い、終わった後は達成感が半端無く、一つ一つに深い意味の込められた仕事なのだたと体感しました。



日本上座仏教修道会

茨城県 浄心庵精舎 祝 見習出家 体験感想

- ・ 出家五日目、初日には六日間もある、と意気込んでいましたが、一瞬にして過ぎ去っていく四日という日にち、明日には還俗かと思うと少し悲しいです。残りの限られた少しの時間をどう扱っていくかが大事だと思いました。大分比丘食堂の準備、片付け、衣の着方など慣れてきて、慣れてきた時に終わってしまうという何とも皮肉なものです。
- ・ 出家六日目、今日は朝食を食べ、礼拝が終わった後にすぐ還俗の儀式となっており、儀式中は「もう六日もたったのか」と思い、あともう一日増やしてもいいなあと感じました。還俗が終わった後、普段の服装に戻り、何か別世界から帰ってきた気分でした。そう思ったのもつかの間、すぐに帰らなければならなくなり、帰る直前、この瞑想会のことを思い出すと、自然と心が温かくなりました。
- ・ 私にとってこの八日間はとても短いように思えました。一日がすぐに経過してしまい、ああ、もう終わってしまったと毎回思っていました。ですが、一日一日の内容がとても濃く、大変たくさんのことを学ばせて頂きました。有難う御座います。
今回、このような幸運の機会を作って頂いた浄心庵の皆様、私達の見習い出家儀式に協力、参加して下さいました皆様、本当に有難う御座いました。これは私の一生の輪廻の中での宝物です。皆さんがお元気でお幸せであることを心から願っております。
本当にありがとうございました。

道上潤一郎（13）中学2年生 愛知県

● 浄心庵精舎 見習出家体験感想文

今回、僕たちは見習出家をさせていただきました。儀式ではとても緊張をしていたのですが無事終わることができよかったです。スイカおいしかったです。虫が多くてこわかったです。この宿泊瞑想会で、以前とは、また違った仕事をさせてもらいました。比丘食堂の準備をしたり、托鉢をしてもらう側になったりなど今までとは、まったく違う感覚や雰囲気を感じることをさせてもらい本当に親や浄心庵の皆様には感謝しています。
7月24日から5日間、セヤードー直々の教えによってこのような貴重な体験をさせていただきました。

知見虎太郎（13）中学2年生 愛知県



日本上座仏教修道会

茨城県 浄心庵精舎 祝 見習出家儀式 写真 1



仏暦 2565 年 令和 3 年 (2021 年) 8 月 15 日 (日) 八日目のウボサタの日
浄心庵精舎 祝 見習出家儀式



日本上座仏教修道会

茨城県 浄心庵精舎 祝 見習出家儀式 写真 2



仏暦 2565 年 令和 3 年 (2021 年) 8 月 15 日 (日) 八日目のウポサタの日
浄心庵精舎 祝 見習出家儀式



日本上座仏教修道会

茨城県 浄心庵精舎 祝 見習出家儀式 写真 3



仏暦 2565 年 令和 3 年 (2021 年) 8 月 15 日 (日) 八日目のウボサタの日
浄心庵精舎 祝 見習出家儀式



日本上座仏教修道会

茨城県 浄心庵精舎 祝 見習出家儀式 写真 4



仙曆 2565 年 令和 3 年 (2021 年) 8 月 15 日 (日) 八日目のウポサタの日
浄心庵精舎 祝 見習出家儀式